

事業名称	新たな雇用創出に向けた工業団地の整備		
寄附目標額	15,000千円	古河市総合計画の位置付け	4 - 2 - 2
事業区分	地域の特性を活かした、仕事をつくる事業		
関連するSDGs	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を		
			
現在抱えている課題	全国的な人口減少・少子高齢化の流れは、古河市でも例外ではなく、2000年をピークに人口減少局面に突入している。人口減少の抑制に向け、子育て支援や定住促進など様々な施策を行っているが、若年層は進学や就職のため東京圏へ転出する傾向にある。		
プロジェクトの概要及びポイント	地域経済の活性化や人口減少抑制に向け、圏央道境古河インターチェンジ周辺における企業の高い立地ニーズを背景に、その近接エリアを候補地として、新たな産業用地を創出し、安定した雇用や多様な働き方に対応できる企業誘致に取り組む。		
目指す将来像	新産業用地の整備促進や交通利便性等の優位性を活かし、企業誘致に取り組むことで、地域の若者の雇用を促進する。これに関連し、若者・女性等の多様な人材の就業による本市の従業者数の増加を図ることで、地域経済の活性化を図る。		
事業担当課	プロジェクト推進課		